

製品名: LCK マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85999**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC 1:25-1:50,FC 1:25-1:50
分子量	58.0kDa

抗原情報

遺伝子名	LCK
別名	Tyrosine-protein kinase Lck, Leukocyte C-terminal Src kinase, LSK, Lymphocyte cell-specific protein-tyrosine kinase, Protein YT16, Proto-oncogene Lck, T cell-specific protein-tyrosine kinase, p56-LCK, LCK
遺伝子 ID	3932.0
SwissProt ID	P06239
免疫原	この LCK 抗体は、組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

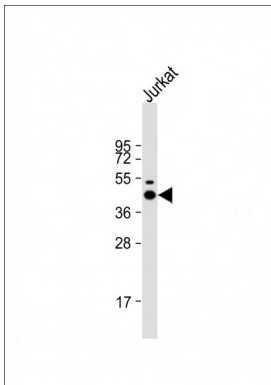
背景

胸腺における発達中の T 細胞の選択と成熟、および成熟 T 細胞の機能に重要な役割を果たす非受容体チロシンタンパク質キナーゼ。T 細胞抗原受容体 (TCR) 関連のシグナル伝達経路で重要な役割を果たします。CD4 および CD8 表面受容体の細胞質部分と恒常的に関連しています。TCR がペプチド抗原結合 MHC 複合体と結合すると、CD4 および CD8 とそれぞれ MHC クラス II およびクラス I 分子との相互作用が促進され、関連する LCK タンパク質が TCR/CD3 複合体の近くにリクルートされます。次に LCK は、TCR ガンマ鎖および CD3 サブユニットの細胞質末端の免疫受容体チロシン活性化モチーフ (ITAM) 内のチロシン残基をリン酸化して、TCR/CD3 シグナル伝達経路を開始します。刺激を受けると、TCR はチロシンキナーゼ ZAP70 をリクルートし、これは LCK によってリン酸化され活性化されます。これに続いて、多数のシグナル伝達分子がリクルートされ、最終的にリンホカインの産生につながります。LCK は他の受容体分子によるシグナル伝達にも寄与します。CD2 の細胞質末端と直接結合し、LCK の過剰リン酸化と活性化を引き起こします。また、T 細胞の増殖反応を制御する IL2 受容体関連シグナル伝達経路でも役割を果たしています。IL2 がその受容体に結合すると、LCK の活性が高まります。胸腺細胞の発生の全段階で発現し、プレ TCR と成熟 $\alpha\beta$ TCR の両方によって支配される成熟イベントの調節に必要です。RUNX3、PTK2B/PYK2、微小管関連タンパク質 MAPT、RHOH、TYROBP などの他の基質をリン酸化します。

研究分野

Jak-STAT シグナル伝達経路

画像データ



抗 LCK 抗体 (1:2000 希釈) + Jurkat 全細胞ライセート